

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

プロジェクト 松山

松山は、鵜の木駅下車徒歩3分
所在地：大田区鵜の木一丁目6番

東調布第三小学校

本間 孝幸 先生
湯浅 光子 先生

大田区まちなみ整備課の方から鵜の木一丁目緑地(通称 松山)が公園になるので、子どもたちの意見を聞きたいというお話があり、六年生が取り組むことになりました。
松山は、地域のみなさんもご存知のように、約六千二百㎡の広い緑地です。松の木や桜の木が生えています。

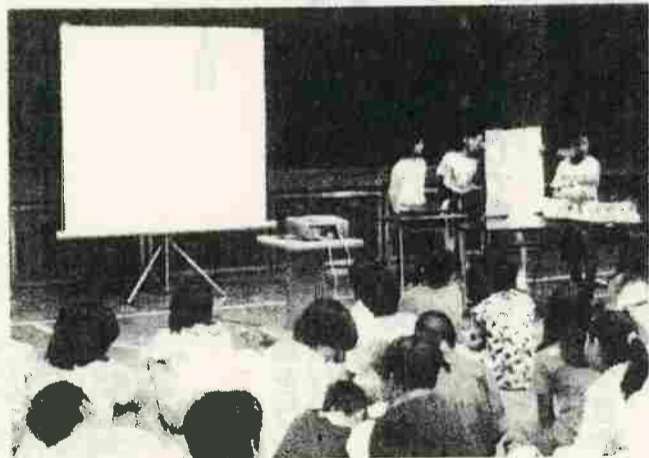
まず、松山に出かけて自分たちの目で見たたり木登りをしたり現地を探検しました。鵜の木出張所の方、まちなみ整備課の人からも松山の歴史についてお話を伺いました。そして、気がついたことや思ったことを書きとめました。
・木登りができて楽しいね。
・でこぼこがあつて楽しいよ。
・でこぼこは、平らにした方が安全だよ。
・生き物のすみかがあつたよ。
・高い所にあつて眺めがいい。
・周りから見えないからこわい。
など、様々な感想をもちました。
次に、まちなみ整備課の方を学校に招いて「安全な公園」についての説明を聞きました。子どもたちは、それぞれに松山をどんな公園にしたいか、イメージが浮かんできました。

学校内、地域の声を聞こう

学校内その他の学年の子どもたち先生方、主事さん方にアンケートやインタビューをしました。地域の声も集めました。保育園、児童館、商店街、松山付近の住宅などに出かけて、インタビューをしました。近くの公園を見学してきたグループもありました。
また、千鳥小・嶺町小の五・六年生にもアンケートをとらせていただきました。たくさんの方に松山を知ってもらい、意見を聞いてみたいという子どもたちの気持ちの表れです。大勢の人の意見を聞いて、立場がちがうと意見もちがいがい、様々な人の立場になって考えることの大切さも学びました。



『地域の方の声も集めました。』



『六年生全員で話し合いました。』

設計図・模型づくり

大勢の人の意見を聞いたうえで考えた公園を設計し、参観日に発表しました。保護者から寄せられた質問や意見をもとにまた話し合いました。そして、模型や紙芝居で自分たちの思いを表現しました。
模型づくりでは、実際の二百分の一に計算して作りました。土台をけずったり遊具を作ったり、グループの中で協力する姿もほほえましかったです。
保護者、地域の方、まちなみ整備課、鵜の木出張所の方々、先生方に、自分たちが考えた松山について発表しました。
・松山の自然を生かしたい。
・子どもからお年寄り、障害のある人も利用できるようにスロープを作る。
・遊具は少しだけ作る。
・ベンチ、時計、噴水、花壇など、利用する人がホッとする物を作りたい。
・ゴミは持ち帰ってもらうためにゴミ箱は作らない。
植物や生き物を育てる場所を作る。



『200分の1の模型です。』

みんながんばりました

六年生なりに精いっぱい学習しました。松山に公園ができるのは、平成十八年度末だそうですが、子どもたちの思いを少しでも取り入れていただきたいと思えます。
子どもたちにとって、ふるさとになる地域です。松山を訪れるたびに、六年生のこの学習を思い出すことでしょう。
すばらしい機会をいただき、関係された方々に深く感謝しています。

わがまちあの人の人

鵜の木二丁目 俵 久子

私が踊りを始めたのは、昭和三十三年頃のことだったと思います。当時、町会の婦人部長をされていた石田さんが、踊りには全く縁の無い私を根気よく誘って下さり、いやいやついて参りました。始めの内は、何時お断りしようかと思いつつ、一ヶ月を過ぎた頃より、何とか皆様の仲間入りが出来、お稽古が楽しみになって参りました。今では皆様にお会いするのを楽しみにして、毎回お稽古に励んでおります。現在は火曜日と木曜日がお稽古日となり木曜日には天明先生をお迎えしてお稽古しております。踊りの発表会は春と秋にありまして、この秋は十一月十六日(アブリコ)で盛大に開催される予定です。只今は、九月七日の大田区民スポーツ大会開会式公開演技に出場させていただく為のハリハサルに励んでおります。また、十月十九日は「身障者のつどい」に盆踊りのお手伝いをさせていただく等、諸先生方に支えられ楽しくすごしております。今尚元気でいられますのは、踊りのお陰と日々感謝しております。

平成今昔ものがたり

新しくなった千鳥町駅



南久が原一丁目 平川 漢夫

千鳥町の駅が便利になった。長年にわたり改札口の改修問題に地域多勢の署名運動、蒲田方面に行く改札口の増設、高い上り下りの階段でお年寄や身体の不自由な方々にとつて大変不便な跨線橋でした。今回力強い皆さん方のご支援と協力を頂き念願叶い、蒲田行改札口が新設されました。新しい改札口はお年寄、身体の不自由な方でも容易にホームに入れて乗車出来るスロープ型ホームとして改築され大変便利になりました。今思い出の多い跨線橋、西に沈む真赤な夕日、晴れば美しい富士の山々の見えた橋でもありました。ここにち時代の流れと共に町はマンションの連立、商店街の人の流れ、ともに新しい町として住みよい明るい町にと願っております。

さんぽしてみませんか

都営地下鉄大江戸線 その7 両国～森下

千鳥一丁目 水野 敬司

元禄年間(1688-1704)常陸 笠間藩主 本庄氏が築造。明治時代に安田善二郎が所有し、大正11年(1922)東京市に寄贈し、旧安田庭園 墨田区横網1-12-1

西国 両国国技館 横網1-3-28 昭和60年(1985)1月に蔵前から移転、新築

江戸東京博物館 横網1-4-1 平成5年(1993)に開館

勝海舟 生誕地 本所松坂町公園 (西国3-13-9)今は、本所松坂町公園

吉良邸跡 西国3-13-9

回向院 西国2-8-10 明暦の大火(1657) (振袖火事)でなくなつたのを平らぐために創建。義太夫節の発祥地 竹本義太夫(1651-1714)の墓がある

葛飾北斎 生誕地 野見宿禰神社 墨田区亀沢2-8-10 境内には歴代横網の碑がある

「剣聖」といわれた 男谷信友の道場 本所墨田町にあった (1798-1864) 従弟が勝海舟 (1823-1899)

小林一茶 旧居跡 寛文3年~文政10年 (1763-1829) 芭蕉=正保元年~元禄7年 (1644-1694) 元長慶寺(芭蕉時雨塚旧跡)

昭和6年(1931)「少年俱樂部」に「のらくろ」を連載 江東区森下3-12-17 森下文化センター1F 平成11年(1999)に開館

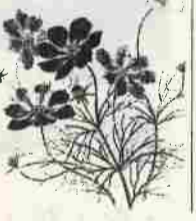
江東区芭蕉記念館 常盤1-6-3 深川神明宮 深川森下3-17 深川 隆祥の地 深川 芭蕉庵旧跡 常盤1-3-12

リレーエッセイ

ちどり南の活動

千鳥二丁目

保苅 一興



千鳥に生まれて今年で六十年、千鳥南町会は様々な活動を行っております。初夏には町会会員の親睦を目的に日帰りバス旅行、今年七月六日バス三台一五七名の参加で行われました。秋の本祭りにはお神輿(隔年)がでます。今年には盆踊りの年です。秋には七十五歳以上の敬老会員二百数十名の方々に毎年お祝いを配り致しております。昨年は新しく完成した町会々館にお招きして盛大に行われました。今後は毎年会館で行われるそうです。暮れには、こども餅つき大会で賑わいます。つきあがった餅、五百包みを町内の方々に配りします。餅がつきあがる間「つきやま公園」に於いて多数の会員参加による防災訓練が行われます。この様に千鳥南町会では色々な行事が行われ、地域の方々一人でも多く行事に参加して戴き、町内が一つの家族のようなお付き合い「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と挨拶を交わす町になればと思います。

俳句 & 短歌

鵜の木一丁目 相澤 久蔵

春は梅 秋は紅葉の本門寺
三千院 写経修めて紅葉狩り
落葉ふむ 心静かに秋おくる
墓まいり 夕陽に輝く彼岸花
こゝにても神代ながらの虫の声
秋風と共に鳴き出でにけり
故郷は遠くにおいて親しのぶ
迎うる黄金 波打ちて舞う

編集後記

私たちのなほ深い鵜の木松山のあらたな環境作りに東調布第三小学校六年生が取り組んだ姿をお届け致します。地域資源を活用して地域全体を見つめる構想がとてまぶらしい。今回取材にご協力いただいた校長先生並びに指導下さいました先生に厚くお礼を申し上げます。子どもたちの可能性を地域社会も応援しております。

編集長 池田 進太郎

鵜の木地区連合運動会に進んで参加しましょう
日時：十月十九日(日) 9時半～3時半
場所：大森第七中学校 校庭

鵜の木特別出張所管内	
人口	男 10,591名
	女 11,202名
	計 21,793名
世帯数	10,917世帯
平成15年9月1日現在	

